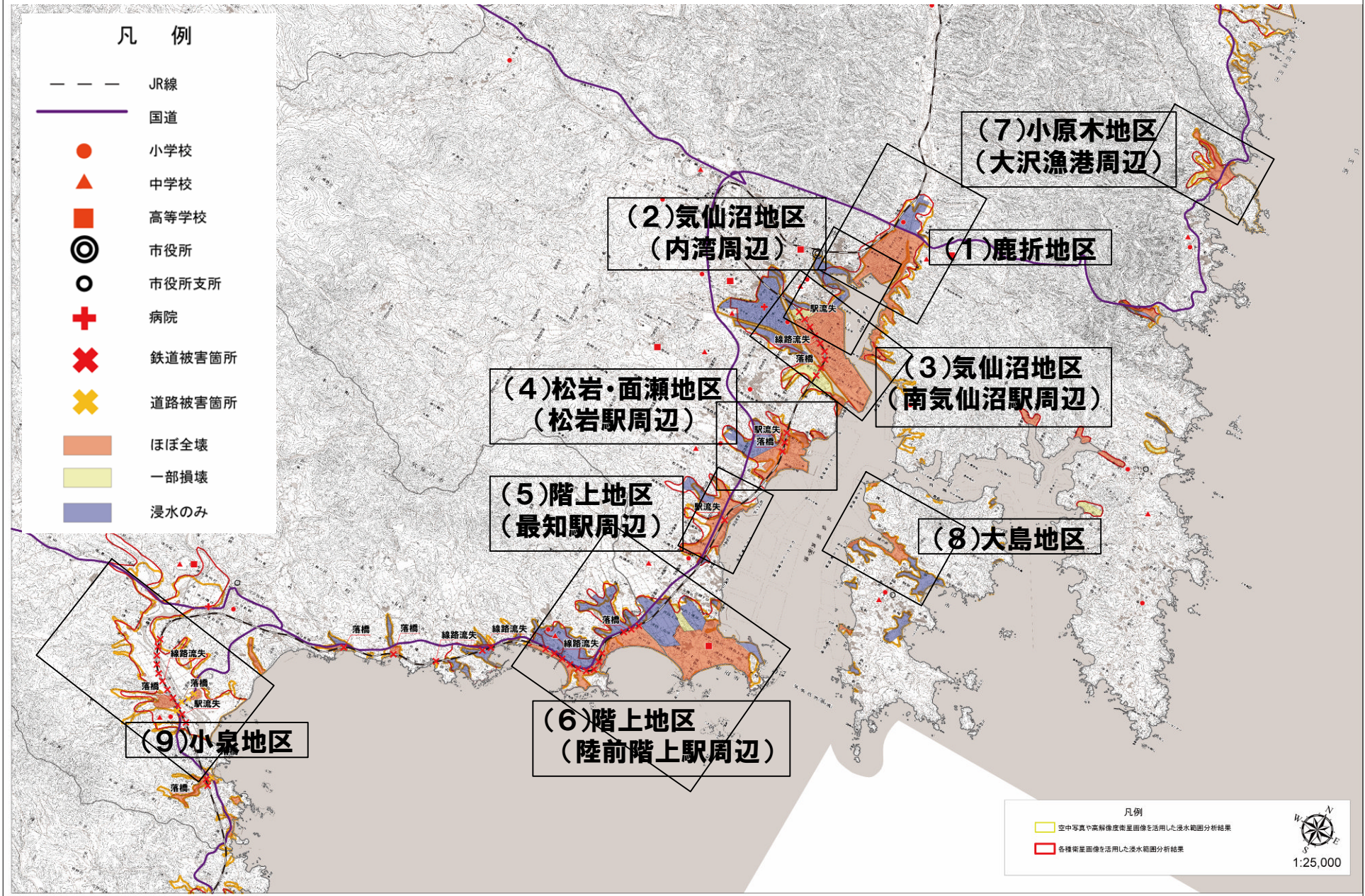


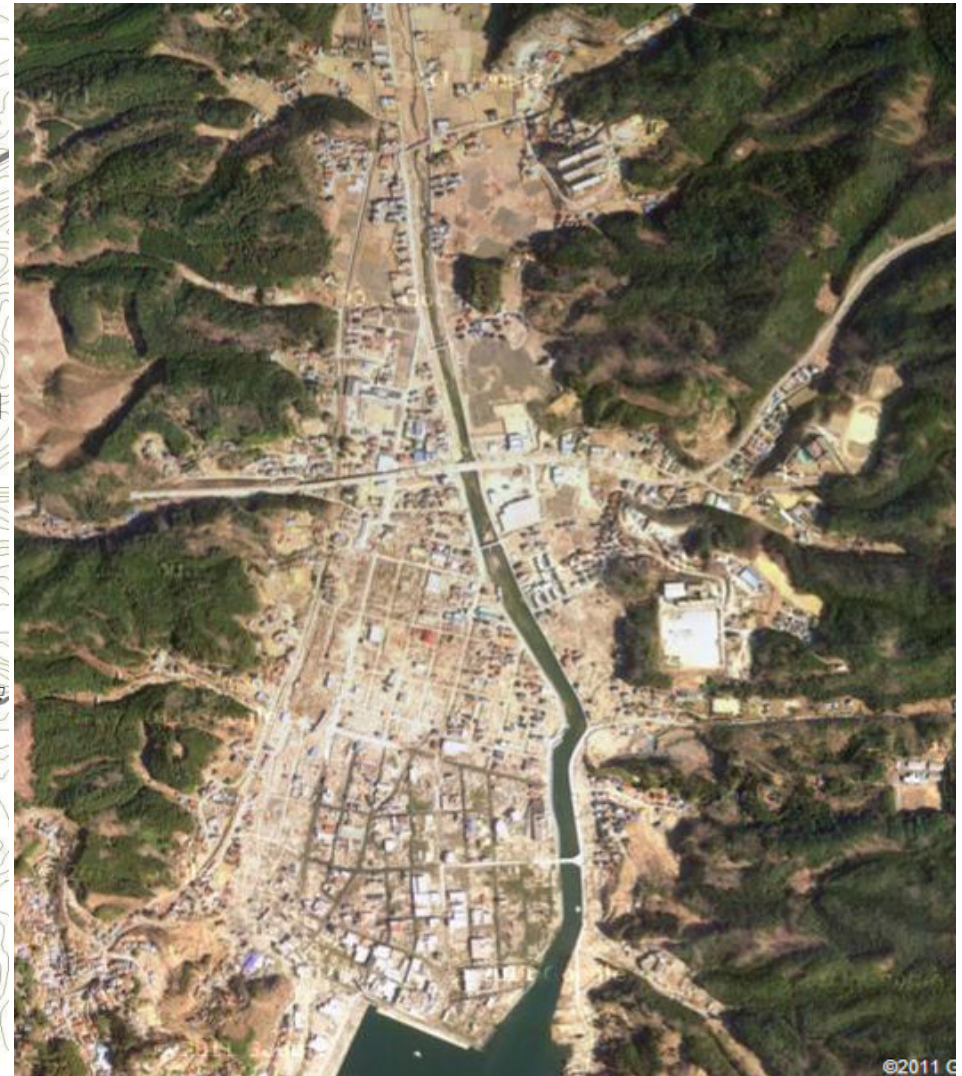
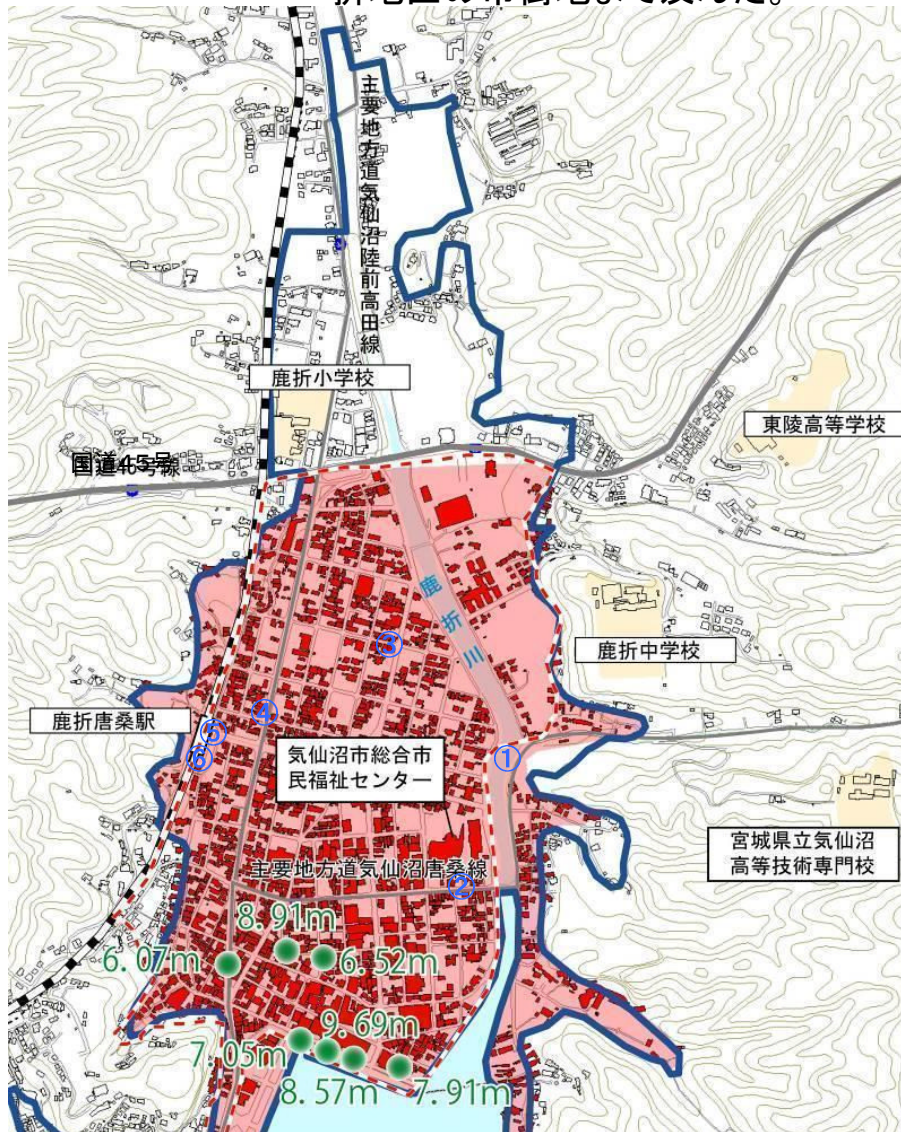
主な地区の津波被害の状況について

資料6



(1) 鹿折地区の被害状況

- 気仙沼湾に面し水産加工場が集積し、その北側は住・商・工が混在する地区
- 倒壊・流失した重油タンクから漏れ出た油に引火し海上火災が発生。火災は鹿折地区の市街地まで及んだ。



□航空写真 (Googleマップより)

- 鹿折川を遡上した津波は、国道45号の北側まで達し鹿折小学校が浸水
- 国道45号以南はほぼ壊滅状態
- 鹿折唐桑駅前には大型漁船が打ち上げられた。
- 鹿折唐桑駅は半壊、線路はガレキに埋没



①崩壊した鹿折川の護岸



②本浜町



③中みなと町



④鹿折唐桑駅前に打ち上げられた大型漁船



⑤半壊した鹿折唐桑駅



⑥被災したJR大船渡線の線路

(2) 気仙沼地区（内湾周辺）の被害状況

○商店街が形成され、市役所や旅客船発着所がある気仙沼市の中心市街地であり、観光の中心。港沿いの多くの木造家屋が全壊・半壊の被害を受けた。



□被害状況図

※浸水深は海岸工学委員会の調査を基に作成

○港沿いの木造家屋はほぼ全壊の被害を受け、国登録文化財である歴史的な建物も全壊・半壊した。
○防潮堤などの漁港施設も損壊



①魚浜町（気仙沼漁港）



②魚町



③魚町



④魚町（大島汽船乗り場）



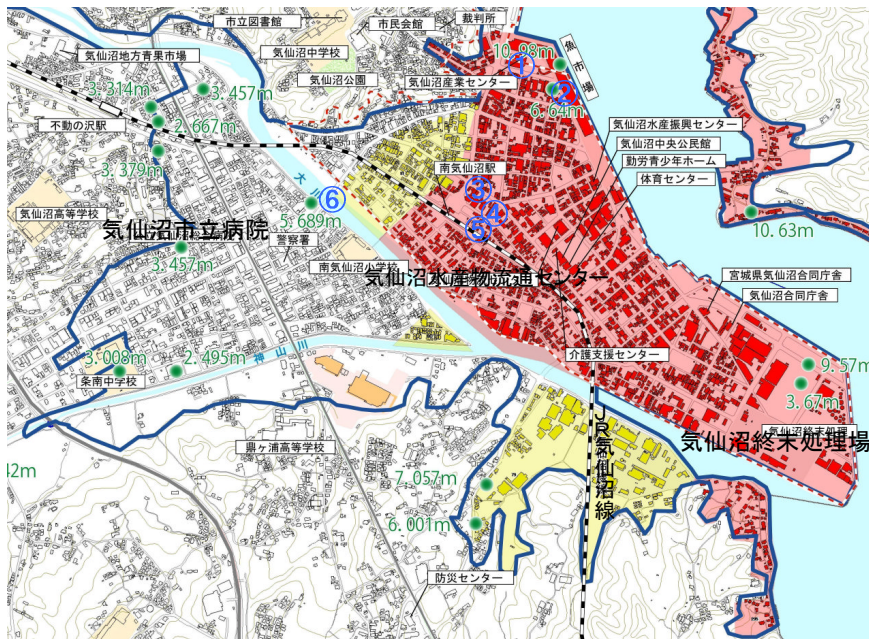
⑤南町海岸（エースポート）



⑥港町

(3) 気仙沼地区（南気仙沼駅周辺）の被害状況

○魚市場を中心に漁船漁業に関連した事業所や水産加工場が数多く集積する地区。
地盤沈下による浸水被害も発生



■被害状況図

※浸水深は海岸工学委員会の調査を基に作成



■斜め写真（国土地理院発表資料より）

- 地盤が約75cm沈下し、全域が浸水
- 港湾、漁業関連施設は、壊滅状態
- 南気仙沼駅が半壊し、線路・橋梁等が流失



①魚市場前



②魚市場前



③南気仙沼駅周辺



④南気仙沼駅前



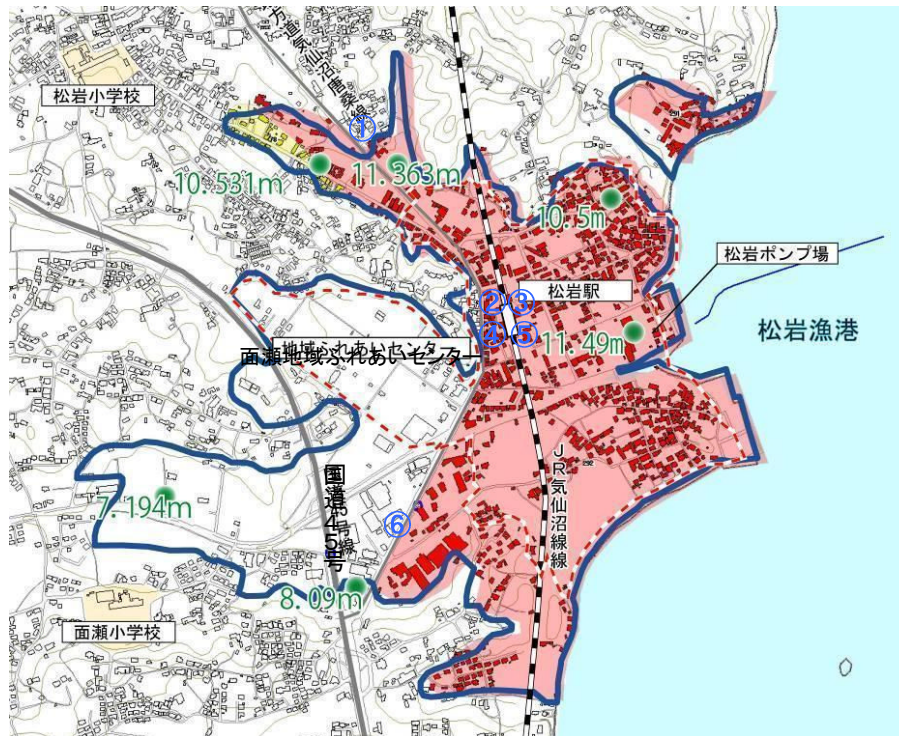
⑤ J R南気仙沼駅



⑥大川

(4) 松岩・面瀬地区（松岩駅周辺）の被災状況

○沿岸部は養殖業を中心とした集落。後背地に水産加工場が集積し、さらに農地が広がる地区。津波により集落は壊滅状態



□被害状況図

※浸水深は海岸工学委員会の調査を基に作成

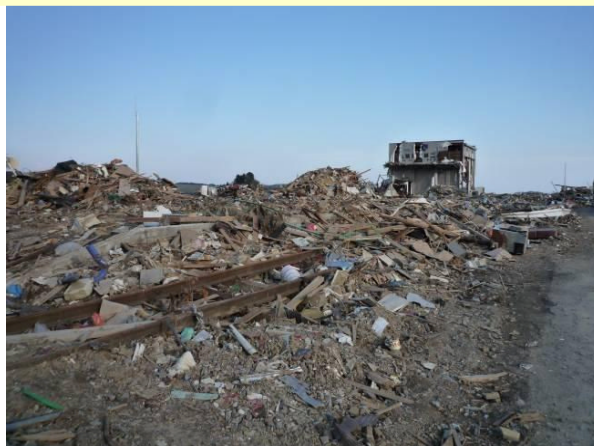


□航空写真（Googleマップより）

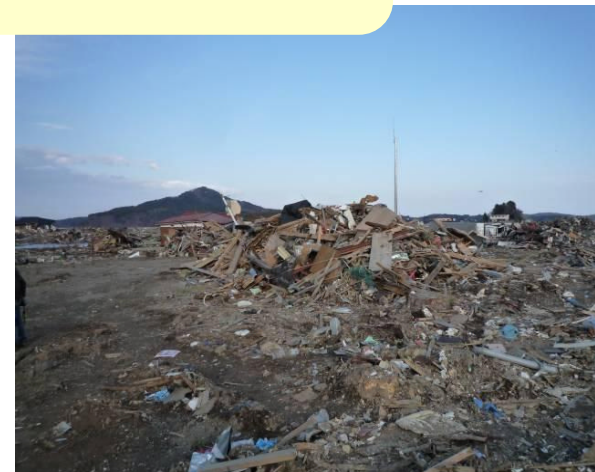
- 主要地方道気仙沼唐桑線より東側はほぼ壊滅し地盤沈下も発生
- 漁港施設の大半が損壊
- 松岩駅は全壊し、気仙沼線の線路も沈下・流失の被害



①主要地方道気仙沼唐桑線



②松岩駅周辺



③松岩駅周辺



④松岩駅周辺



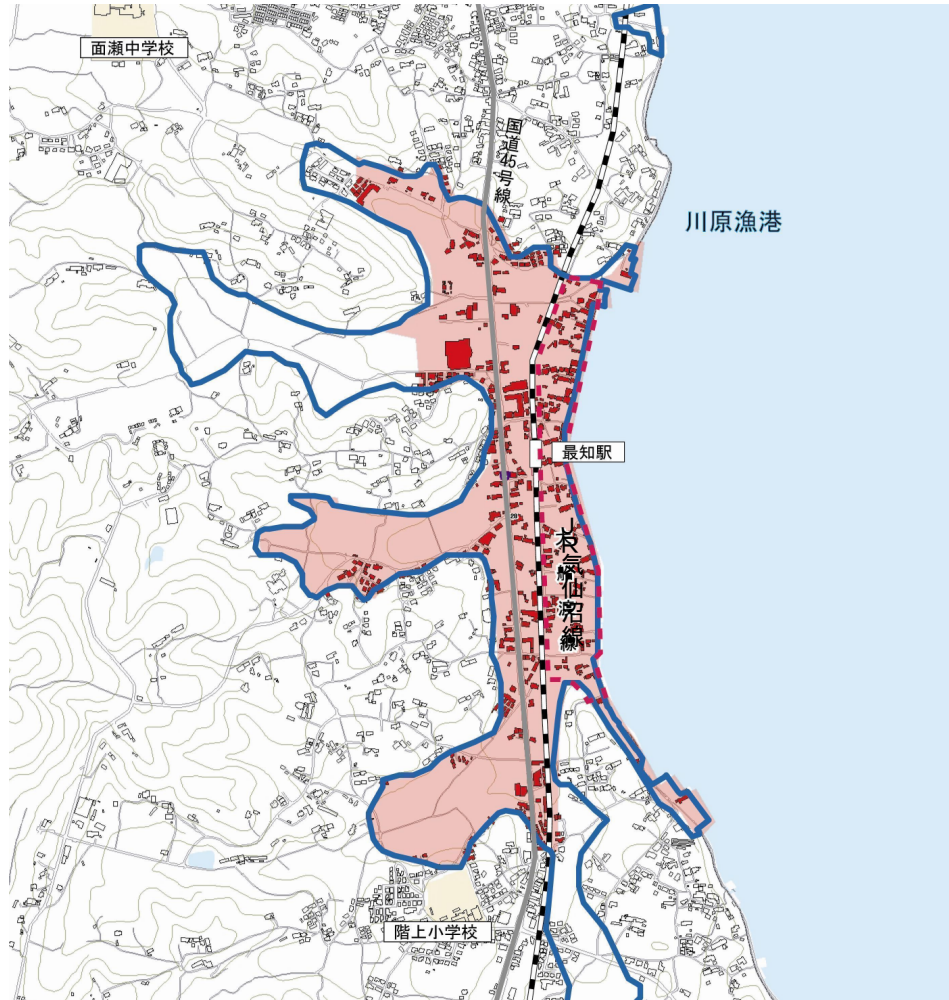
⑤松岩駅周辺



⑥主要地方道気仙沼唐桑線

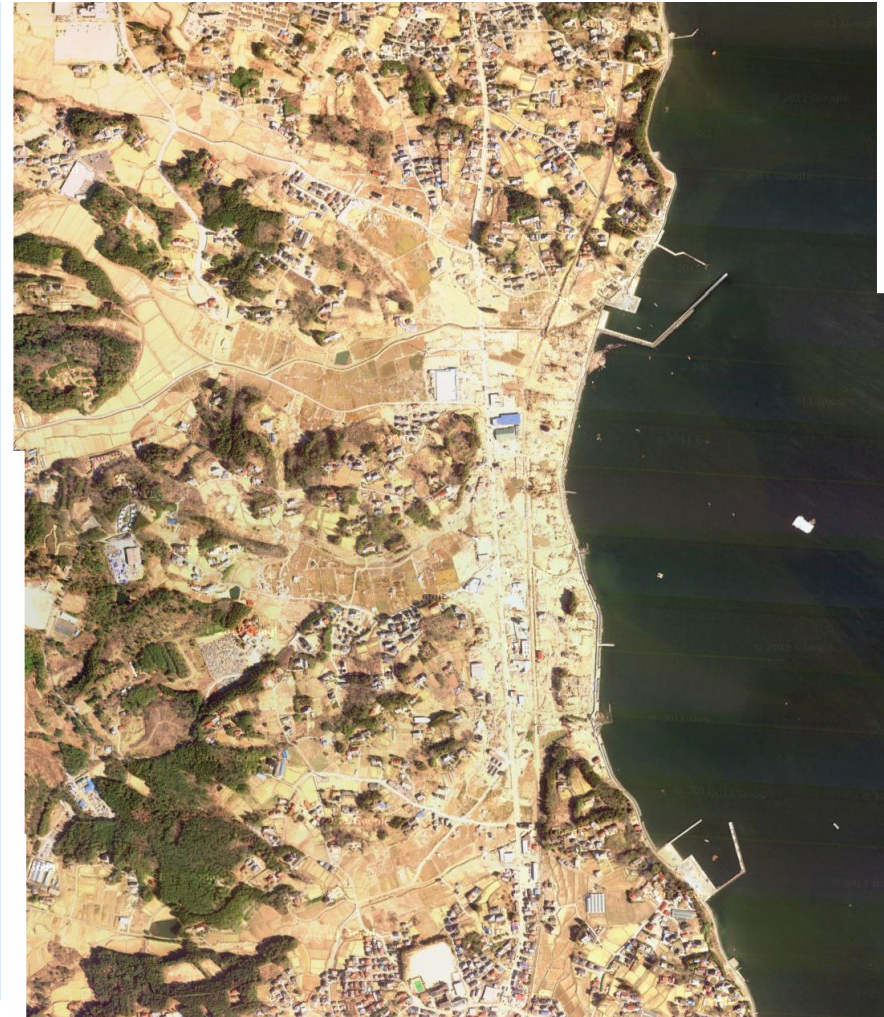
(5) 階上地区(最知駅周辺)の被災状況

○JR気仙沼線と国道45号が併走し、沿線に事業所等が南北に集積する地区。沿線の建物は壊滅状態



□被害状況図

※浸水深は海岸工学委員会の調査を基に作成



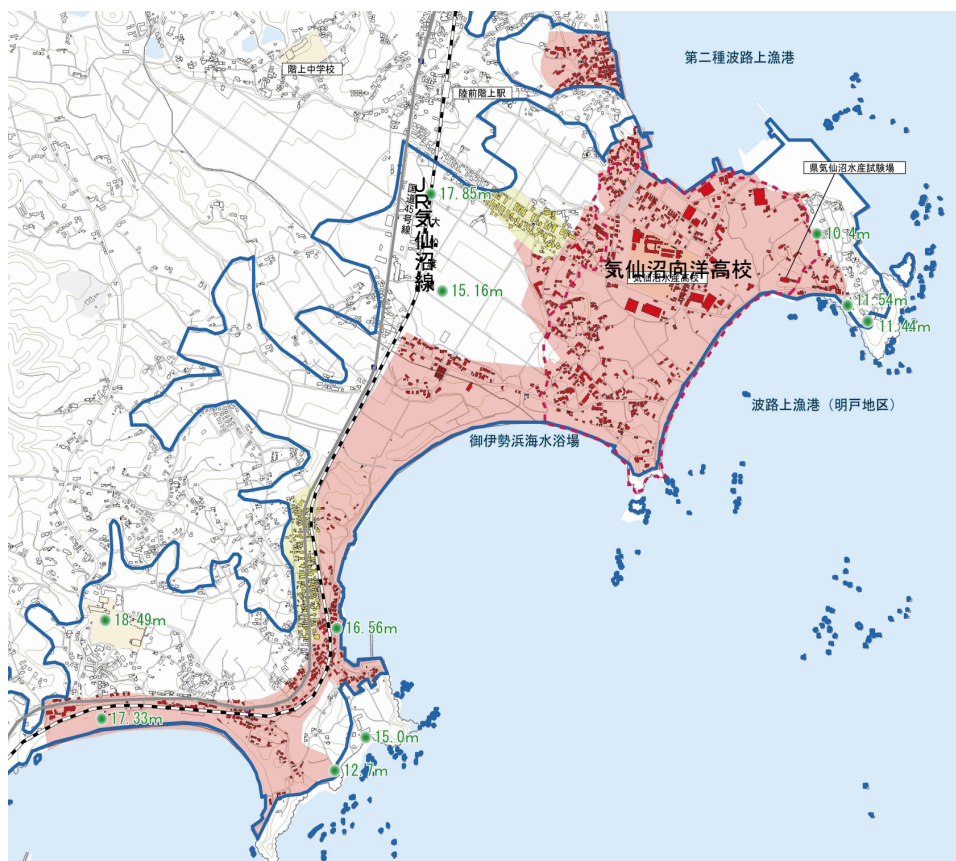
□航空写真 (Googleマップより)

- 海岸の漁港施設や住居等の大半が全壊
- 最知駅は全壊し、気仙沼線の線路も沈下・流失の被害



(6) 階上地区（陸前階上駅周辺）の被災状況

○気仙沼湾の入り口の岬とその周辺地区。気仙沼向洋高校も多大な被害を受けた。



□被害状況図

※浸水深は海岸工学委員会の調査を基に作成

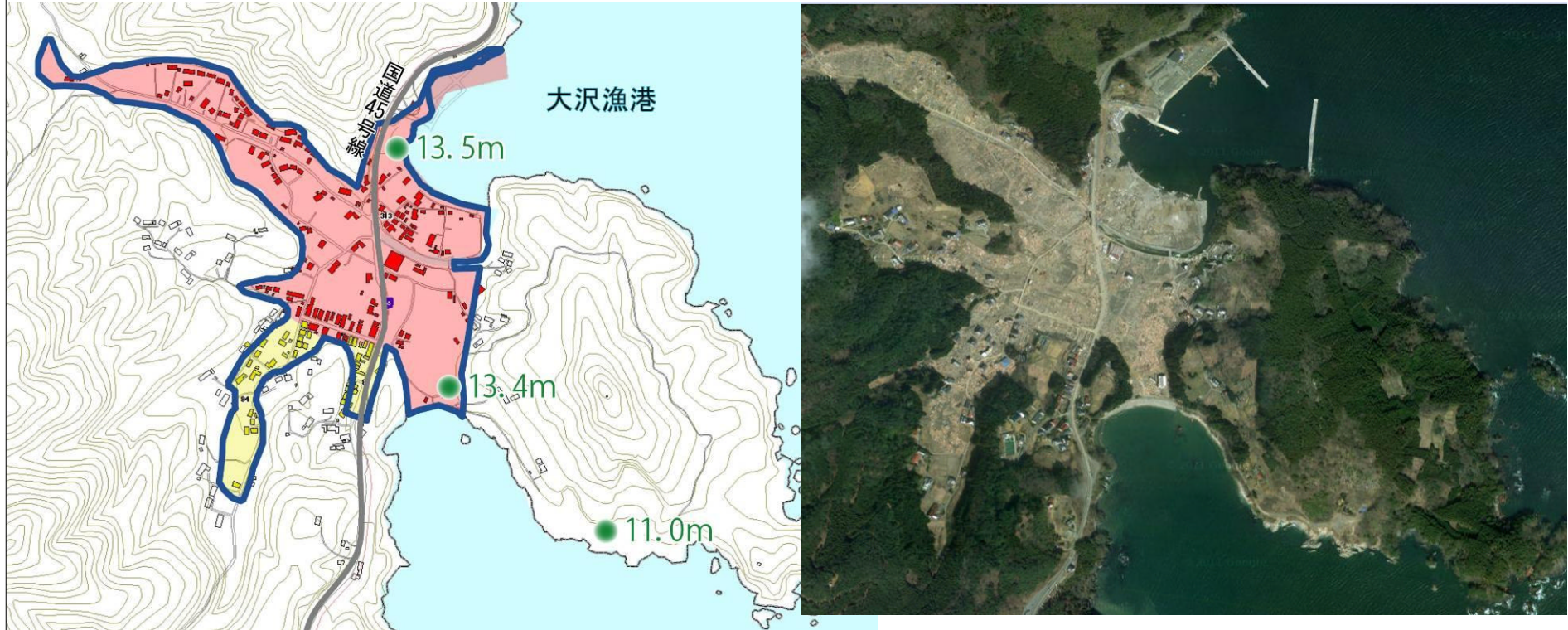


□航空写真 (Googleマップより)

- 平地部の施設や住居等の大半が全壊の被害
- 高台にある住宅でも揺れによる一部損壊の被害



(7) 小原木地区（大沢漁港周辺）の被災状況



□被害状況図

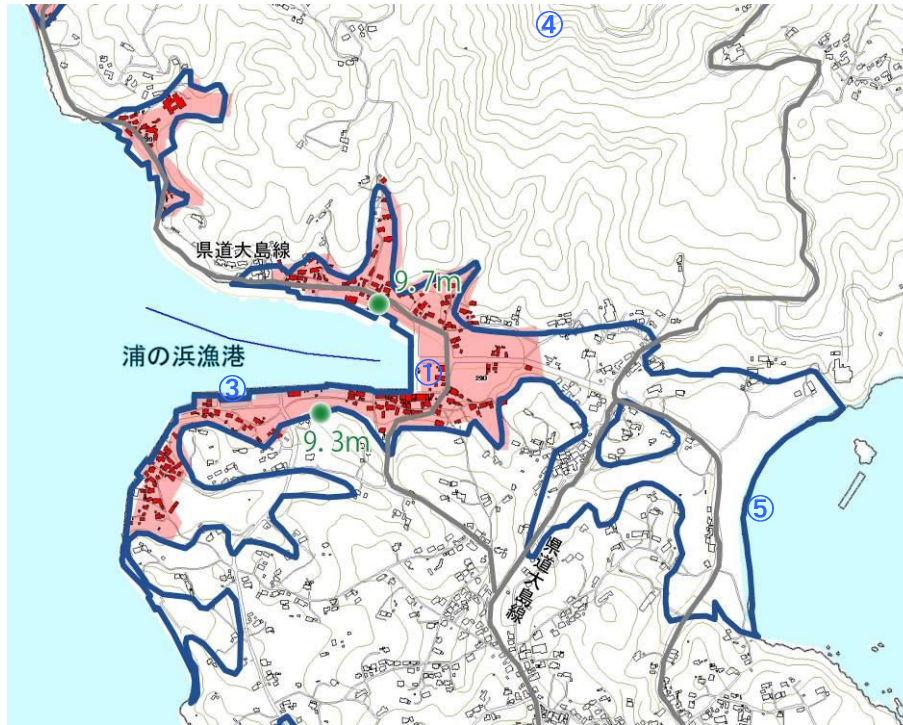
※浸水深は海岸工学委員会の調査を基に作成

□航空写真（Googleマップより）

- 南側、北側から津波が流入
- 大沢漁港と集落は全壊の被害



(8) 大島地区の被災状況



□被害状況図

※浸水深は海岸工学委員会の調査を基に作成



□航空写真 (Googleマップより)

○浦の浜ではほぼ全壊の被害
○大規模な山火事の発生。亀山リフトも被災した



①浦の浜



②浅根



③浦の浜漁港



④亀山リフト

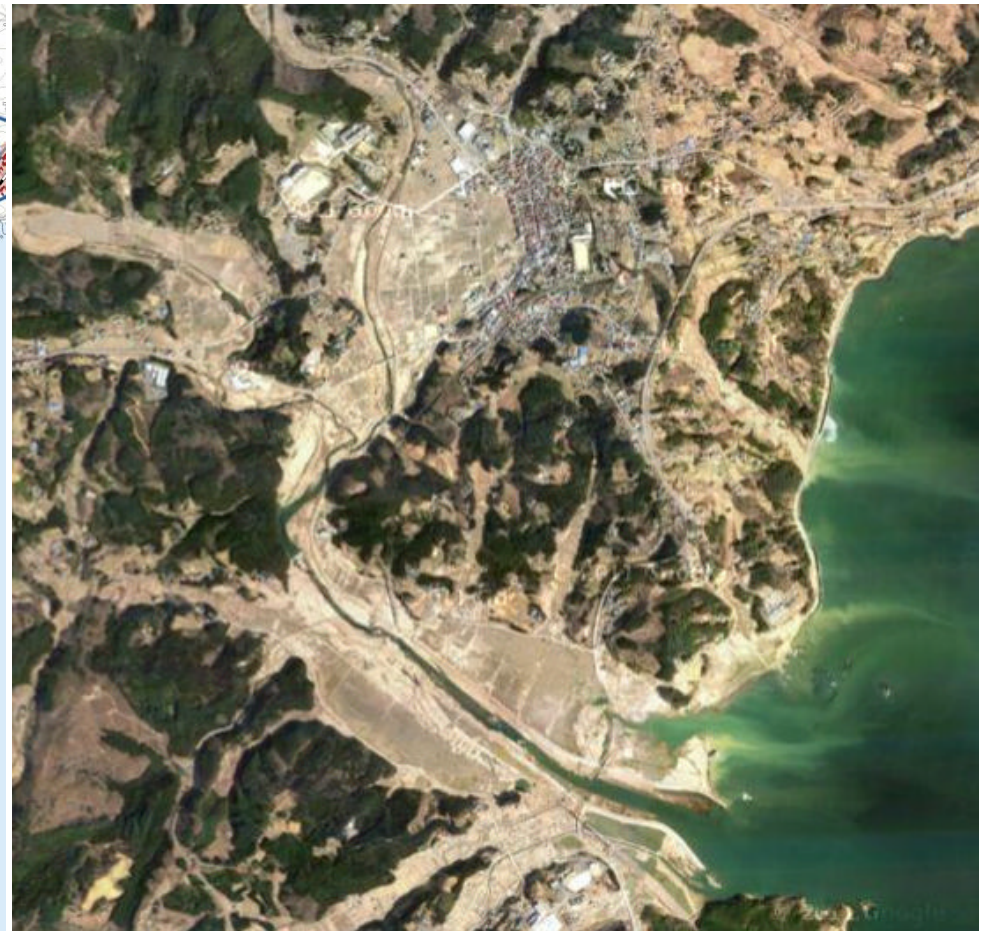
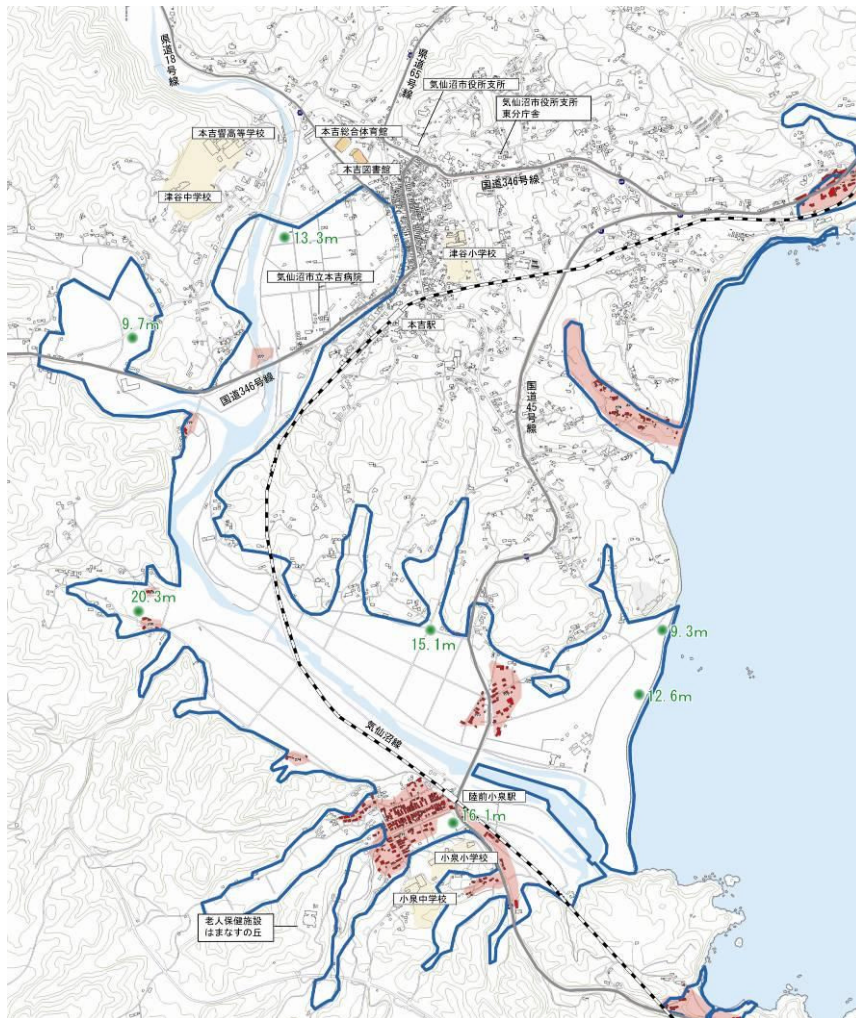


⑤田中浜



⑥亀山リフト周辺

(9) 小泉地区の被災状況

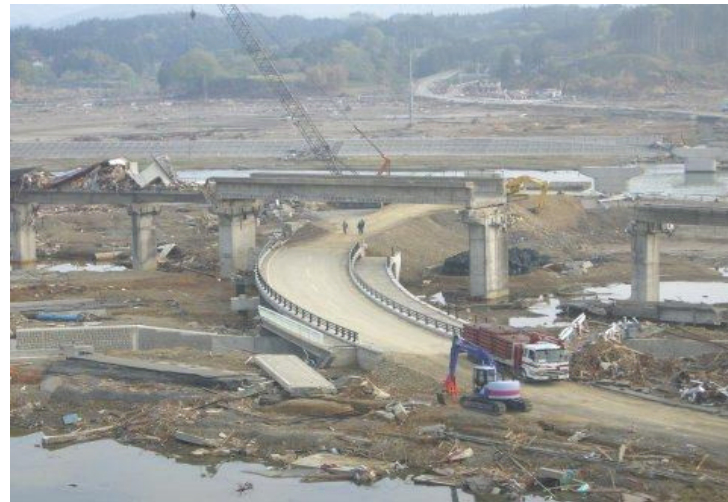


□航空写真 (Googleマップより)

□被害状況図

※浸水深は海岸工学委員会の調査を基に作成

- 津谷川を遡上して大規模な浸水被害の発生
- 小泉地区の集落は全壊
- 気仙沼線の線路、陸橋、陸前小泉駅は流出



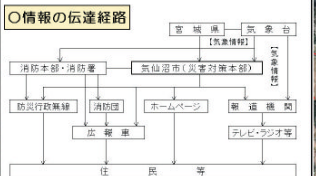
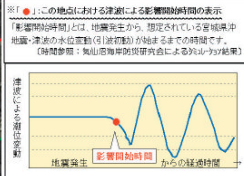
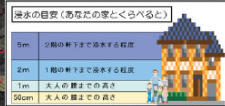
○ハザードマップ

気仙沼市防災マップ 津波 全体図

このマップは、みなさんに津波災害の危険性を知らせていただき、防災について考えてもらうために作成しました。
 ある条件のもとで想定した津波浸水区域ですので、浸水区域の外であっても想定を越えた津波が発生すれば被害が生じてしまいますので、油断することなく日ごろから避難や防災について考えておきましょう。

○津波浸水危険区域の説明
 この地図は、宮城県が実施した、「第三次被害想定調査」の結果に基づいて、宮城県沖地震（運動型）に伴い津波が発生した場合の、市内の予想浸水区域と過去の津波の浸水域等を表示しています。
 ※あくまで「想定した津波」による予想浸水域ですので、間違いない場合または、想定を越えて津波は押し寄せるとも考えられます。

- 凡例**
- 市役所
 - 警察署
 - 駐在所・派出所
 - 消防署
 - 病院
 - 学校
 - 広域避難場所
 - 津波避難ビル
 - 津波避難場所
 - 津波影響関係時
 - 避難方向
 - 津波危険区域



平成15年度に宮城県が実施した「第三次宮城県地震被害想定調査」による調査結果を基にしています。
 本ハザードマップの背景図にはIKONOS衛星画像を使用しています。
 (C)日本スペースイメージング (株)

地震のときは・・・

- 地震を感じたら、机やテーブルの下にかくれ、身を守る
- ガス器具などを、落ち着いて停電に消化する
- ドアを開けて、出口を確保する
- 落下物の危険があるので、あわてて外に出ない
- 災害時は「自助」と「共助」が大切です。自動：自分の命は自分で守る。共助：お互いの助け合い

